

東灘区会

フルトッフ ⇒ 感謝、感激、感動
⇒ 車椅子

国際7期 白岩 信義

東灘区会が“フルトッフ集めて贈ろう車椅子”をモットーに朝日新聞社（ASA）のキャンペーンに参加して4年余り、グループわ事務所にボトルの設置をお願いし、わ会員のみならず、現役学生、グループ外の方々にも広く呼び掛け、平成22年2月末で170本(2リットルペットボトル)をお陰様で集める事が出来ました。ご協力頂いた皆様に感謝!! 感謝!! 感謝!!

さて瓢箪から駒のような話で、車椅子の贈呈が出来ました。東灘区会で書道、歌唱指導で開設当初より関与している「サンライフ魚崎」がこの3月で10周年を迎える事を聞き、私たちの集めた量ではとても無理なのを承知で車椅子1台を贈れないものかとASAに頼みました。現状では難しいとのこと。現時点の相場では800本の2リットルペットボトルで車椅子1台購入できるとのことでした。諦めていたところASAから「社内で検討の結果今回特別に1台贈呈します」との返事、思わずヤッタと大感激!! 大感激!!

贈呈が決まれば出来るだけ早い方がよいだろうと、2月8日にサンライフ魚崎で贈呈式が行われました。また当日同ホーム職員が集めていた大量のフルトッフ20本分をASAに直接手渡すハプニングもありました。最後に挨拶をしながらASAの特別な計らいに感謝し、この4年間量の多少にかかわらずフルトッフをお持ちいただいた一人一人の顔が目に浮かび温かいご協力の賜物と思わず目頭がジーンと感動!!

今後とも旧来に増して出来るだけ多くの方の更なるご協力のほどお願い申し上げます。



車椅子贈呈式

[前頁へ](#)

須磨区会

すべてはこれから

須磨区会長 福祉3期 細野恵久

前号(49号)に、須磨区会では区会に参加したことがない人の割合が他の区会に比べて高いこと、またその理由に忙しい、活動への誘いが無い、を挙げた割合も突出していることが報じられました。昨年秋に行われた区会に関する全会員アンケートの結果を要約した記事です。

須磨区会の現状は確かにそのとおりです。私は昨年末、前任の佐々信義氏から区会長を引き継ぎ、この問題に向き合うことになりました。しかし私は深刻に考えていません。アンケートをよく読むと、大方の会員は決して地域活動に関心がないわけではなく、自分に適した活動であれば参加してもよいと考えていることが判ってきたからです。

ただ区会からの呼びかけが不足していることは否めません。そこで「須磨区会だより」を発刊することを決め、1月に「第1号」を出しました。これには全会員の校區別、卒業期別の分布表を載せ、互いに知り合うきっかけにしました。

次の「第2号」には「須磨区会第1回総会」の開催案内を載せ、今月出します。なんだ、須磨区会はまだそんな段階なのかと笑われそうですが、いいんです。すべてはこれからです。



須磨海岸での清掃活動

[次頁へ](#)